

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 17 日

評価対象事業		評価者	道路課担当課長	吉本 敏明
都整-16	重点事業	道路新設改良事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 道路課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。
効果	交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

・大規模住宅団地等の道路改良整備工事を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		
	決算値(千円)	222,066	179,718	当初予算(千円)	223,212
	国県支出金	24,681	49,000	国県支出金	25,400
	地方債	177,100	109,400	地方債	171,100
	その他	19,788		その他	
	一般財源	497	21,318	一般財源	26,712
	人員配置数	1.6	1.9	人員配置数	1.7
人件費(千円)	13,360	15,802	人件費(千円)	14,152	
事業経費運営	総事業費(千円)	235,426	195,520	総事業費(千円)	237,364
	市民1人当りの経費(円)	1,335	1,108	市民1人当りの経費(円)	1,344
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 舗装修繕の要望は、市民からの多数寄せられているため、予算規模を拡大して対応を図る必要がある。	事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・市民から舗装修繕の要望を多数受けていることから、事業費の拡大を図る必要があるが、人員の配置や厳しい財政状況を考慮すると困難な状況である。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	市民から多数の舗装修繕の要望が寄せられている一方で、平成30年度に改定した「道路舗装修繕計画」を計画的に実施する必要があるため、予算規模を拡大して対応を図る必要があるが、人員と予算の確保ができないことが課題となっている。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	限られた予算や人員のなかで舗装修繕を実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	予算規模を拡大して対応を図る必要があるが、人員と予算の確保ができないことが継続的な課題となっている。新たに、令和3年度以降に路面性状調査や道路舗装修繕計画の改定を予定していることから、今後舗装の管理水準について見直しを検討する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	道路舗装修繕計画の進捗率(単年度)					単位	km	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)		H30(2018)	R01(2019)	
計画的に実施する必要があるため。	目標値	3.4	3.4	3.4	3.4		3.4	3.4	
	実績値	1.9	1.5	2.2	2.7		2.1	1.2	
	達成率	55.9%	44.1%	64.7%	79.4%		61.8%	35.3%	

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--